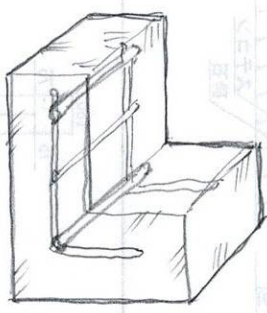


A127

127

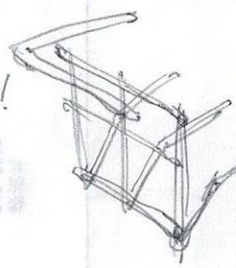
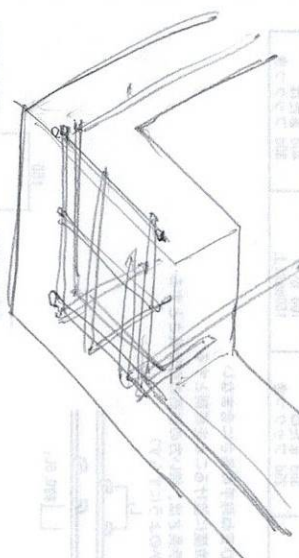
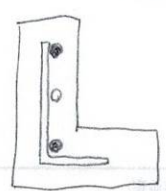
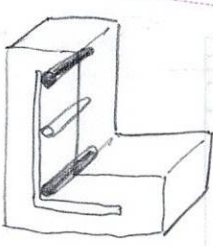
敷地・坪数用表



株式会社リパラー
Live and Let Live!

代表取締役
逆瀬川 淳
Atsushi Sakasegawa

〒370-0857 埼玉県
Tel: ~

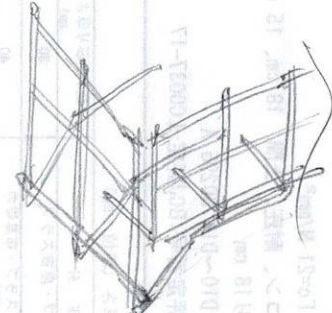



項目	内容	単位
敷地面積	15.01	㎡
建築面積	21.00	㎡
延床面積	81.15	㎡

株式会社リパラー
Live and Let Live!

代表取締役
逆瀬川 淳
Atsushi Sakasegawa

〒370-0857 埼玉県
Tel: ~



本館は、日本一の主観を
あつと東洋館を設立中の第100号
を建設して、その中心に建設する

使用材料・強度

使用材料

コンクリート: $F_c=21 \text{ N/mm}^2$

スランプ●捨てコン、耐圧、土間 18 cm、15 cm (構造設計特記仕様参照)

●立上り18 cm

鉄筋: D10~D16:SD295 A

ユニット鉄筋 評定番号:BCJ評定-LC0037-17

■ 鉄筋のかぶり厚さ (単位: mm)

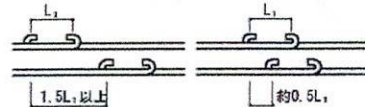
構造部分	最小かぶり厚さ (mm)	設計かぶり厚さ (mm)
土に接しない床スラブ・屋根スラブ・非耐力壁(屋外)	30	40
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分・基礎つなぎ梁	40	50
基礎 (捨コンクリート部分を除く)	60	70

■ 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

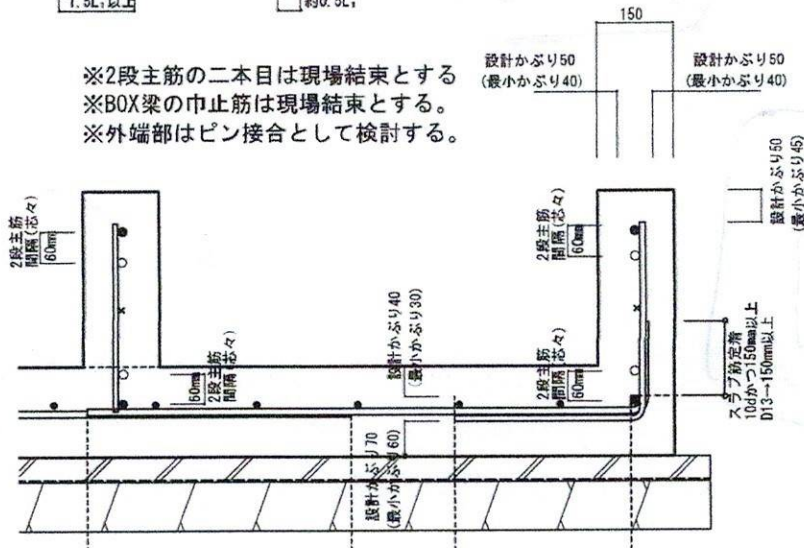
鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm^2)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ (L_1)
		一般 (L_2)	下端筋 (L_3) 床・屋根スラブ	
SD295A	21	35d または 25d フックつき	10d かつ 150mm以上	40d または 30d フックつき

継手

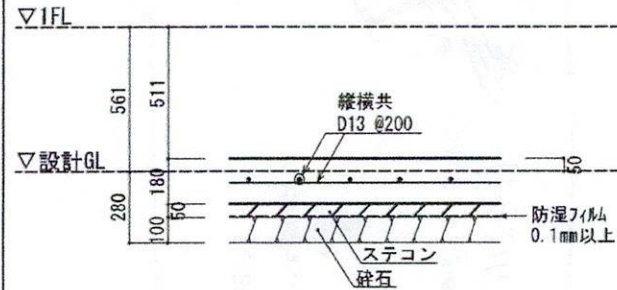
1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
重ね継手(下図のいずれかのようにする)



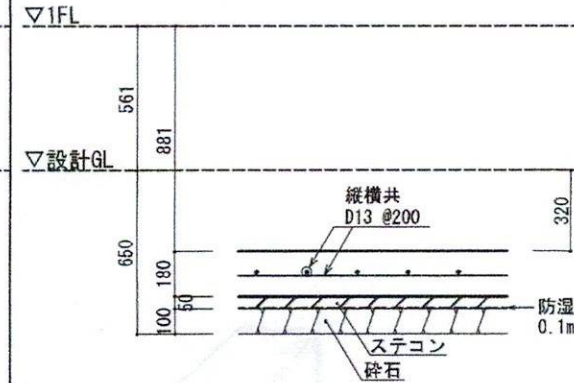
※2段主筋の二本目は現場結束とする
※BOX梁の巾止筋は現場結束とする。
※外端部はピン接合として検討する。



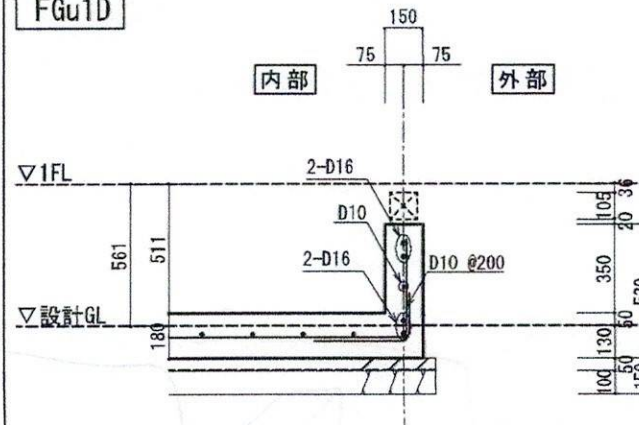
FS1



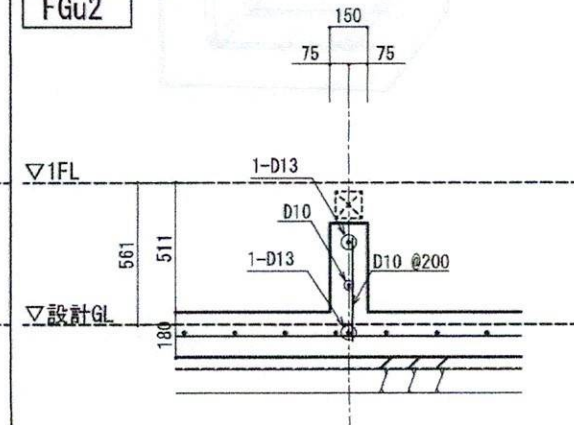
FS1A



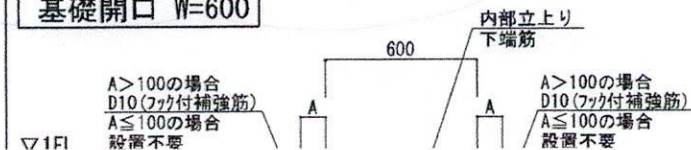
FGu1D



FGu2



基礎開口 W=600



FGu5 人通口 W

A>100の場合
D10(フック付補強筋)
A≤100の場合
設置不要